

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	参加者それぞれの立場から意見を聞いて、話し合いが行われているが、具体的な課題を話し合うまでは至っていない。議事録も参加していない家族に送付されていない。	運営推進会議には区長、民生委員、家族、市役所、市社会福祉協議会の参加を得て、事前に会議議題を用意して参加者から意見をもらい、運営に活かしていく。家族へは議事録を送付する。	3月の運営推進会議に外部評価での評価について説明し、議題とする。参加者には、運営推進会議前に議題の送付をする。家族には、百日紅便りと議事録写しと一緒に送付する。	1ヶ月
2	10	家族会がなく、家族に家族会の働きかけを行い、家族の集まった際に話し合う機会を持ったが、会の設立には至らず、意見を得ることはなかった。面会時には一度苦情があり、職員で話し合って改善につなげた。	家族には、再度家族会結成の働きかけを行っていく。	家族会結成の働きかけをしていく。百日紅の家での合同の家族会を計画している。運営推進会議で家族の意見、要望について話し合い、結果については議事録写しを家族に送付する。	6ヶ月
3	23	日頃接する中で、利用者の思いを聞き、把握するようにしている。本人からの聞き取りが困難な場合には、家族から情報を得ている。記録にはセンター方式の導入を目指しているが、全員にはいきわたっておらず、数名分に留まっている。	目標としているセンター方式の導入で利用者全員をその人らしい支援できるようにしていく。	積極的にセンター方式の導入に取り組む。利用者全員分の情報を整備し、職員間で情報共有をしてケアに反映できるようにしていく。	6ヶ月
4	33	看取りは1名経験しているが、入所時の意向の確認は利用者、家族から聞きにくいと、まだ行っていない。職員の看取りの研修も進んでおらず、現在は積極的に看取りが行える状態にない。	入所時に本人や家族に看取りに対する思いを聞く。入所後も折に触れて看取りについての話しを利用者とするこで、重度化や終末期に向けた方針を共有する。	1 入所時に看取りについての思いを聞く。 2 入所後日々の生活の中で利用者の看取りに対する思いを聞く。 3 看取りについての研修会に参加する。	12ヶ月
5					ヶ月